

基礎看護学実習 I（生活環境・対象の理解・生活の援助）

I. 目的

入院患者及び入院患者を取り巻く療養環境を理解し、基礎看護技術を実践する基礎的能力を養う。

II. 目標

1. 基礎看護学実習 I（その1）

- 1) 入院患者を取り巻く療養環境を理解できる。
- 2) 患者と看護師とのかかわりの実際を知る。

III. 実習時期

1 年次前期

IV. 実習場所

岡山医療センター : 7A・7B・8A・8B・9A・9B・10A・10B・西 4

金川病院

南岡山医療センター : 3 階・4 階

V. 行動目標および学習内容

実習目標	行動目標	学習内容
1. 入院患者を取り巻く療養環境を理解できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 病棟の構造が説明できる。 2) 病棟の設備が説明できる。 3) 病棟の特殊性が説明できる。 4) 入院患者の病床環境が説明できる。 	<p>病室、ナースステーション、処置室、配膳室、食堂、リネン室、トイレ、汚物処理室、洗面所、浴室、面談室</p> <p>ナースコール、中央配管設備、汚物処理設備、防災設備、給食設備</p> <p>入院患者の特徴（健康障害の種類とレベル）、週間予定、看護方式（看護体制）、入院患者を支える職種</p> <p>病床環境の実際（室温、湿度、照度、騒音、臭気、色調、病室および廊下の広さ、多床室と個室の違い）、人的環境</p>
2. 患者と看護師とのかかわりの実際を知る。	1) 患者・家族に対する看護師の態度や基本姿勢について述べられる。	<p>挨拶、態度、身だしなみ、配慮、援助時の説明や言葉かけ、患者の反応を捉えた実践、</p> <p>言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション（表情、ジェスチャー、姿勢、視線、距離、声の大きさ、抑揚）、聴き方、話し方、言葉の使い方（敬語、丁寧語）、受容的態度、質問の仕方（オープン</p>

実習目標	行動目標	学習内容
		エンドクエスチョン、クローズドクエスチ ョン)

基礎看護学実習 I（生活環境・対象の理解・生活の援助）

I. 目的

入院患者及び入院患者を取り巻く療養環境を理解し、基礎看護技術を実践する基礎的能力を養う。

II. 目標

1. 基礎看護学実習 I（その2）

- 1) 対象と対象の入院生活が理解できる。
- 2) 原理原則に基づき基本技術が実施できる。
- 3) 対象に応じた日常生活の援助が実施できる。
- 4) 相手を尊重した態度や学習する姿勢を身につけることができる。

III. 実習時期

1 年次後期

IV. 実習場所

岡山医療センター：7A・7B・8A・8B・9A・9B・10A・10B・西4

金川病院

南岡山医療センター：3階・4階

V. 行動目標および学習内容

実習目標	行動目標	学習内容
1. 対象と対象の入院生活が理解できる。	1) 対象の身体的側面が説明できる。 2) 対象の日常生活状況を述べることができる。 3) 対象の一日の過ごし方を説明できる。 4) 入院が対象に与える影響を説明できる。	症状、検査・治療の内容 環境、食事、排泄、清潔、活動・休息に関する情報 患者の入院生活の日課 生活環境の変化、入院生活に対する気持ち
2. 原理原則に基づき基本技術が実施できる。	1) 対象に応じたコミュニケーションを図ることができる。 2) バイタルサインの測定ができる。 3) 測定した値が正常か異常かの判断ができる。 4) 観察・援助したことを報告できる。	患者への対応の仕方（援助時の説明、言葉かけ）、言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション（表情、ジェスチャー、姿勢、視線、距離、声の大きさ、抑揚）、聴き方、話し方、言葉の使い方（敬語、丁寧語）、受容的態度、質問の仕方（オープンエンドクエスチョン、クローズドクエスチョン） 体温測定、脈拍測定、呼吸測定、血圧測定 正常値と比較、患者の平常時と比較 観察（視診・触診・打診・聴診）、測定結果や援助前後の報告

実習目標	行動目標	学習内容
	5) 感染予防のためのスタンダードプリコーションができる。	手洗い、手指消毒、マスク・手袋・エプロン着脱、看護物品の消毒法
3. 対象に応じた日常生活の援助が実施できる。	1) 療養環境を整えることができる。 2) 必要な援助とその根拠が説明できる。 3) 本日実施可能かどうかの判断ができる。 4) 援助方法の根拠が説明できる。 5) 援助計画にそって実施できる。 6) 対象の反応を確かめながら実施できる。 7) 実施した援助の評価ができる。 8) 評価を考慮し、援助方法を追加・修正できる。	援助前後の環境調整 環境の調整 療養環境の調整（室内気候、採光、音、色彩、臭気、照明の調整、病床整備、シーツ交換、ベッドメイキング、ベッドの操作、人的環境） 食事の援助 食事介助、配膳・下膳 食事種類・形態 排泄の援助 床上排泄の援助（尿器・便器） 自然排泄（排尿）の援助 オムツ交換 清潔の援助 清拭、入浴、シャワー浴、部分浴（手浴・足浴）、整容、洗髪、結髪、口腔ケア、陰部洗浄、寝衣交換 活動・休息の援助 車椅子移乗と移送、輸送車による移動（ストレッチャー）、ボディメカニクス、体位変換、安楽な体位の保持 安全・安楽、プライバシーへの配慮 対象の反応の確認 対象の反応から目的が達成できたか、未達成かを判断、達成、未達成の要因振り返りをして援助方法を追加・修正
4. 相手を尊重した態度や学習する姿勢を身につけることができる。	1) 礼儀正しい言葉使いや挨拶、振る舞いができる。 2) 清潔な身だしなみができる。 3) 助言を受けた内容を活かすことができる。 4) グループ内で学習内容を共有することができる。 5) 提出期限を守ることができる。 6) 時間を守って行動ができる。 7) 実習を休むことなく出席することができる。 8) 学習者として報告・連絡・相談ができる。	挨拶、相手への態度（言葉使い、振る舞いなど） 身だしなみ 看護援助への反映 振り返りの内容の共有 提出物の期限の厳守 時間厳守、5分前行動 健康管理 報告・連絡・相談